

令和元年度 事業報告

平成から令和へと新たな時代を迎えた令和元年度は、5月の改元や10月の消費税改正、さらに年明けからの新型コロナウイルス感染拡大による経済活動の停滞など激動の一年となりました。

当センターを取り巻く環境は、依然として厳しく先行き不透明感が増していますが、令和元年度は事業計画に基づき、新規会員の入会促進・拡大、会員の高齢化に伴う就業先の確保、適正就業に係るシルバー派遣事業の推進、安全就業の促進等々、積極的な推進・展開を図ってきました。

この結果、昨年度に引き続き、各項目において総じて堅調に推移し、令和最初の年度は順調な滑り出しとなりました。

具体的な令和元年度の事業実績については、受託件数 5,682 件、就業延日数 110,670 人日、就業実人員 901 人、就業率 94.5%、契約金額 553,878 千円（内、シルバー派遣事業分 126,524 千円）となり、就業実人員、就業率、契約金額の主要項目部門で前年度実績を上回る結果となりました。特に契約金額では過去最高の実績額となり、前年度に比べ 5,545 千円増、1.0%増となりました。また、主要推進施策でもあるシルバー派遣事業においても、契約金額が対前年度比 23.9%増となるなど順調な経緯を辿りました。なお、契約金額の職群別内訳では、一般作業群が全体の 73.9%を占め、続いてサービス群、技能群、管理群、折衝外交群、事務群、技術群の順となっています。

令和元年度事業計画において、センター運営の根幹に係わる最重要取り組みの一つとした会員拡大については、年度内の新規入会会員が延 127 名で、令和 2 年 1 月末時点では全会員数が 1,049 名と過去最大となったものの、加齢や病気による退会と新年度に向けての未更新会員が多数出たため、令和 2 年 3 月末現在会員数は 899 名で、前年度同時期との比較では 53 名の減となりました。

以下、項目別に事業の実績を報告します。

1. 安全就業の推進

令和元年度の事故件数は 5 件で、対前年度比では 2 件の減少となりました。

事故の内訳は、傷害事故が 4 件で前年度より 2 件減少、賠償事故は 1 件で前年度と同数でした。傷害事故 4 件の内訳は、重量物の運搬作業での胸椎骨折、ベルトコンベアに挟まれ手首骨折、荷崩れ下敷きによる胸部骨折、バイク転倒での骨折でした。

特に企業等での就業中の傷害事故が増えているため、企業で就業中の会員に対して

は、類似事故再発防止のための注意喚起を行いました。また、賠償事故1件は、除草作業中の小石飛散による走行車両のガラス破損事故でした。除草班の事故は1年6か月ぶりでしたが、改めて班長・班員の全員で『段ボールプロテクター』『カルマー』の使用徹底の再確認を実施しました。

事故発生の際はもとより年間を通じて、安全小委員会や剪定・除草班長会議を開催し、事故原因の究明及び対策協議するとともに、特に多発した事故の撲滅をめざし、安全・適正就業委員会の開催、職種ごとの安全講習や交通安全講習、安全パトロール等を実施しました。

2. 適正就業の推進

請負・委任に馴染まない契約の見直しを行い、是正が困難な契約についてはシルバー派遣に切り替える対応に努めました。この結果、シルバー派遣契約は全101件で前年度より24件増となり、就業延日数、契約金額ともに増加するなど、着実に適正就業の推進が図られました。更に発注者からの仕事の内容を十分把握することで、危険、有害な仕事の峻別や長期就業の是正を実施しました。

また、適正就業調整委員会や各班長会議等あらゆる機会を通じて「シルバー人材センター適正就業ガイドライン」の周知を図りました。

なお、令和2年3月に開催予定をしていた第2回適正就業調整委員会は、新型コロナウイルス感染防止のため中止しました。

3. 就業開拓・会員拡大の推進

就業機会創出員を中心に役職員一丸となり、就業開拓に取り組み、新規発注者の開拓、既存発注者への就業拡大を図りました。

令和元年度の受託件数は、5,682件、就業延日数は110,670人日という結果になりました。この内、発注者の新規開拓は14件で就業者数67人となりました。また、シルバー派遣による就業会員数は199人で前年比8.7%増となっています。高年齢会員の就業先確保の観点での取り組みとして受託した市広報のポスティング業務が軌道に乗ってきたことから、同種の他の配布業務依頼を受注し易くなったことを受け、これらの契約件数が増加しています。本業務には高年齢会員を中心に常時約70名の会員が就業しています。

今後の就業開拓にあたっては、適正就業を念頭に入れ開拓しなければならないため、シルバー派遣をより一層推進するとともに適正就業調整委員会等の意向を踏まえて適切に実施します。

会員拡大については、会員募集チラシの全戸配布(34,443 枚)をはじめ、「名張市くらしのガイドブック」(全戸配布)への広告掲載、名張市広報(令和2年2月10日号)の半ページを使用した「かわら版シルバー人材センター」、三重テレビ放送でのテロップ広告、伊賀タウン情報 YOU(令和2年3月後半号)に会員募集広告を掲載するなど、積極的な会員募集活動に取り組みました。この後の新規会員入会者が通常よりも増加したこともあり、効果的な取り組みとして今後とも継続的に実施することとしています。

この他、例年通りに「とれたて!なばり 2019」等の催し物などでのPRやセンターホームページへの掲載、シルバー朝市やスーパーでのチラシ配布等による会員募集の広報活動を積極的に推進したほか、入会説明会を毎月開催し、まずは会員登録へのきっかけづくりに取り組みました。

なお、会員総数は各月により増減があるものの、令和2年1月末には最大会員数1,049名となりましたが、会員1,100名を目標に今後とも会員拡大への取り組みを更に強化します。

4. 福祉・家事援助サービスの推進

令和元年度の事業実績は、福祉サービス、家事援助サービス、介護予防・地域支え合いサービスを合わせて受託件数2,209件、契約金額43,689千円で前年度より受託件数、契約金額ともに減少となりました。大きな原因は、これまで福祉・家事援助サービスに含まれていた事業所等での清掃業務が一般分類に変更になったためですが、福祉・家事援助サービス自体についても、大口の福祉施設で施設清掃や調理業務を民間への業務委託に切り替える動きが進んでいるため、危機感を持ってその動向を注視していく必要があります。

女性会員が多くを占める当事業の充実と会員の資質の向上・交流を図るために、会員研修会や高齢者健康講習会、野外交流会等を実施しました。また、県主催の「シルバーいきいきフェスタ 2019」に参加し、他の県内シルバー人材センターとの交流を深めました。

毎年12月実施の「福祉・家事援助サービス月間」のボランティア活動(名張市役所の公共広場清掃や啓発活動)は、あいにく悪天候のため中止となりましたが、今後も地域貢献とセンターの周知啓発活動に取り組んでいきます。

また、介護予防事業として、市民も交えて元気体操、寄せ植え教室などを実施しました。

5. 剪定枝葉等再活用事業の推進

令和元年度の処理量は、剪定枝葉 153 t、刈草 540 t の合計 693 t でした。この内シルバー事業により処理される剪定枝葉が 152 t、刈草が 506 t で計 658 t となっています。

チップ化・細断化した剪定枝葉や刈草の再活用として、主に一般家庭、果樹園等で土壌改良品として利用し、伐採した樹木は薪として販売しました。

また本年度は、大型送風機と照明器具を更新し、作業環境の改善と効率化を図りました。

本事業は、自主財源を主としていることから非常に厳しい財政運営を余儀なくされていますが、今後ともごみの減量化、資源リサイクル、地域の環境保全に資するためにも、事業の合理化や経費節減に努め、健全な事業運営に取り組みます。

6. 補助事業の推進

(1) 高齢者活躍人材確保育成事業

三重県シルバー人材センター連合会から受託した事業で、高年齢者を対象にシルバー会員として雇用・就業に繋がる技能講習を実施する事業です。本年度は「農業施設スタッフ講習会」を開催し、11名の参加者がそれぞれ熱心に受講し、最終日には参加者を対象に入会説明会も開催し、活況の内に終了しました。

(2) 経済好循環推進協議会委託事業

名張市から受託した事業で、「シニア層の労働支援」として、センター会員の拡大や雇用・就業促進に取り組む事業です。当事業は本年度9月から新規に受託したもので、パンフレットの作成や会員募集活動を実施しました。

今後とも補助事業については、市等関係機関との連携・協議を綿密に行い適正な事業執行に努めます。

7. 独自事業の推進

平成 28 年度で補助期間が終了した地域就業機会創出・拡大事業を平成 29 年度から独自事業として「シルバーファーム事業」の名称で継続・推進している事業です。本年度においても、名張市下小波田地内の休耕田を有効活用し、「ちぢみほうれんそう」をはじめ旬の各種野菜を生産し、シルバー朝市やとれたて名張交流館、無人販売所や各種イベント等で販売しました。また、シルバー朝市やイベント参加時に会員募集活動を実施しました。

今後の取り組みは独自事業検討委員会を主体として検討・研究します。

8. シルバー事業の普及啓発の推進

シルバー事業の理解と協力・支援を得ることを目的に、効果的で効率的な普及啓発活動やボランティア活動を実施しました。

- (1) 会報「ゆうゆう」を年2回発行しました。
- (2) 「とれたて!なばり 2019」に参加出店し、うどん、フランクフルト、各種野菜等の販売を行うとともに、同会場においてPR用チラシ、啓発用ポケットティッシュを配布しました。
- (3) 「シルバーの日」における各地域及び施設等の清掃活動を実施しました。
- (4) 市広報や地域情報誌などで当センターの宣伝普及活動を実施しました。
- (5) 名張市役所使用の共通封筒(小封筒)への企業広告(有料)に「名張市シルバー人材センター」の広告を掲載しています。
- (6) 会員募集啓発のぼりを作成し、随時活用しました。
- (7) 「会員募集」「仕事受注」の啓発・宣伝チラシを作成し、随時に配布しました。
- (8) イオン名張店において、啓発活動を実施しました。

9. 会員アンケート調査の実施

会員の就業実態や満足度、就業希望などの要望等を把握し、今後のセンターの運営に役立てるため、全会員を対象とした「会員向けアンケート」を実施しました。

アンケート結果については、理事会及び会報誌等を通じて公表するとともに、今後の事業運営に反映していきます。

10. 委員会活動の推進

「安全・適正就業委員会」「適正就業調整委員会」「福祉・家事援助委員会」「独自事業検討委員会」「剪定枝葉等再活用推進委員会」「会報編集委員会」の6委員会で、それぞれの課題等について協議・検討を行いました。